

製品名: CD2 (3F10) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM00730**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	CD2
別名	CD2; SRBC; T-cell surface antigen CD2; Erythrocyte receptor; LFA-2; LFA-3 receptor; Rosette receptor; T-cell surface antigen T11/Leu-5; CD2
遺伝子 ID	914
SwissProt ID	P06729
免疫原	CD2 の合成ペプチド

背景

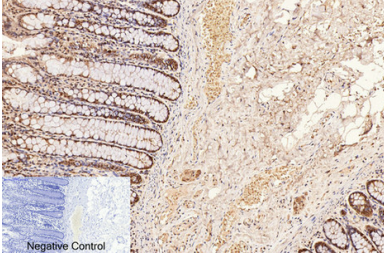
CD2 はリンパ球機能関連抗原 (LFA-3) および CD48/BCM1 と相互作用し、T 細胞と他の細胞種との接着を媒介します。CD2 は T 細

胞の活性化に関与し、細胞質ドメインはシグナル伝達機能に関与しています。

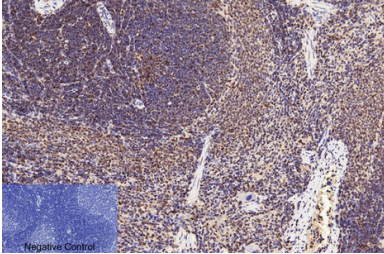
研究分野

免疫学

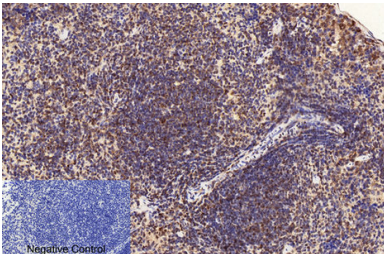
画像データ



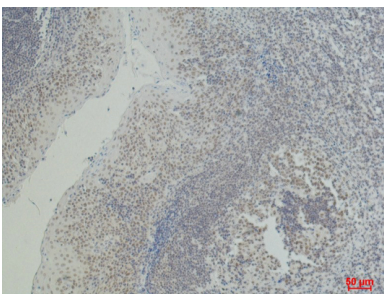
CD2 (3F10) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト結腸組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



CD2 (3F10) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体のみを使用しました。



CD2 抗体を用いたパラフィン包埋マウス脾臓組織の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧・高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。ネガティブコントロールとして、二次抗体のみを用いた。



CD2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。